

伊豆市立修善寺南小学校 学校だより

学校教育目標
重点目標

「共に輝く たくましい 南っ子」
「あふれる笑顔 熱い瞳 まぶしい汗」



:住所:
伊豆市柏久保425-1
:電話番号:
0558-72-0149

南っ子だより

令和4年2月4日 発行
第19号
文責：加藤 有紀子

立春(りっしゅん)



立春(りっしゅん)は、二十四節気において春の始まりとされる日。節分の翌日です。この頃は東風が吹いて氷が解けはじめ、地中に冬ごもりした虫が動きはじめます。万物が春の装いをあらたにする時期です。

昔の人々にとって立春は、春の始まりを告げる日であり、1年のスタートでもありました。昔の日本では、立春を起算日として八十八夜や入梅などの雑節を決め、生活の目安を立てていました。季節とともに生きる日本人にとって、立春はとても重要な日だったのです。

学校の1年の始まりはもう少し先ですが、節分ではどんな鬼を追い出し、どんな『福』をまねきましたか？願いが叶うように小さな頑張りを重ねていきたいですね。

挑戦 し続ける

朝の活動での8の字跳び週間は終わりましたが、どのクラスも「もっと跳べた記録を伸ばしたい」という思いが強く、朝のグラウンドは賑やかです。

8の字跳びは『思いやり』競技だと思えます。回し手は跳び手一人一人の跳び方に合わせて縄の回し方を変えています。順調に跳んでいても時に流れが止まってしまうことがあります。

そのようなときでも「大丈夫！」と声を掛け合う姿が見られます。8の字跳びをしている全員が全員のことを思いやっているからこそ、記録の更新がされているような気がします。

クラスの絆が一層強くなっています。一方、一人技に挑戦する子どもたちもたくさんいます。「先生みてみて！」と、できるようになった二重跳びを披露するその顔は、笑顔と自信に満ちた素敵な顔です。



できることが増えると、自分のことが大好きになります。自分のことが大好きになると、周りの人に優しくなれたり、くじけそうになったときに乗り越える力が自然と湧いてきたりします。どの子も光るものをもっています。たくさん見つけてたくさん褒め、自信をもって日々、過ごすことができるようにしたいです。



学習を生かして

6年生が図工で作った『くるくるクランク』
1年生にその仕組みを丁寧に説明し、一緒に楽しみました。笑顔の1年生と、見守る6年生の温かいまなざしが素敵でした。



どうやったら動くの？



ここを回すと動くよ



鬼は そと 福は うち

自分の中にある追い出したい『鬼』を書いてみました。誰にでも短所はありますが、しっかり向き合って克服できるように頑張りましょう！という気持ちをもつよい機会だと思います。

鬼は怖いイメージですが、働き者で優しい鬼もたくさんいますよ。



優しい鬼のお話

まや先生の 心のおはなし



五重の塔を支えています



お寺の香炉を支えています



身体測定をした後は、長倉養護教諭から心やからだ、病気の予防などのお話があります。今回は

〈1・2年生〉・・・わたしのこと、友だちのこと

* 誰にでも得意なことや苦手なことがある。お互いを理解し合い、仲間と一緒に自分を伸ばしていこう。



〈3・4年生〉・・・自分らしさってなんだろう？

* 男子や女子に関係なく、好きなものは違っていいはず。まわりの人が決めつけるものではない。自分らしさや友だちのその人らしさを大切に、認め合って生活をしていこう。



〈5・6年生〉・・・YES、NO は自分で決める（自分と相手を大切にし良い関係を築く）

* 人によって体や心の距離はちがうもの。自分が良くても相手は違うかもしれない。人によって「大丈夫」「いやだ」などの感じ方も違う。自分の体は自分のものだから、自分と他の人との距離は自分で決めていいんだよ。



という話でした。「男女共同参画」について、発達段階に応じて必要な知識を自
分事として考える学習をしました。ご家庭でも話題にしてみてください。

